

| | | | |
|-----------|------------|------|----|
| 講義名 | 研究演習 | | |
| 講義コード | 25208 | 授業形態 | 演習 |
| 担当教員 | 森脇 丈子 | | |
| 開講期・曜日・時限 | 後期 火曜日 5時限 | | |
| 備考 | | | |

ゼミ

対) 研究演習 (森脇 丈子)

学部

全学部

学科

全学科

演習名

消費生活から社会をとらえる

概要説明

私たち消費者は、どのように社会と関わりながら生活しているでしょうか。消費意欲をそそられる消費者、収入を得るために働く労働者、企業を運営する経営者や幹部、退職した人、何らかの形で他者からの助けを受けながら生活する人などさまざまです。私たちの生活にとって、より安定的で快適な消費の形について、消費や労働の側面から研究していきます。

適切な日本語の使い方、わかりやすいプレゼンの仕方、他者の話を聞き自分の考えを論理的に述べることのできる力、課題に必要な資料の探し方・活用の仕方を身につけていきます。テーマは、学生の関心のある領域をとりあげていきます。学内・学外での「実学」にぜひチャレンジしてください。

学位

経済学修士

教員よりの要望

研究演習 は、対面授業です。必ず出席してください(遅刻厳禁)。やむを得ず欠席する場合には、前もって連絡をいれてください。ゼミでは、テーマを決めて議論をおこないます。ゼミでは、常に参加者の発言を求めますので、発言できるように準備しておいてください。新聞記事や本を使って、内容を把握し、それを報告し、議論するといった流れで行います。そのため、普段の生活で活字やニュースに触れる場面を多くつくってください。筋道の通った話ができる人材になれるよう、訓練をしていきます。そのため、宿題がたくさんあります。努力して、挑んでください。

教員英字氏名

MORIWAKI Takeko

研究室

5411

最終学歴

立命館大学大学院経済学研究科博士課程後期課程(単位取得満期退学)

主な研究活動・社会活動・研究業績

- ・生活経済論、消費経済論
- ・消費生活の日仏比較
- ・フランスの小売業、地域に根づいた生産・消費共同体の調査・分析

主な卒業論文のタイトル

- ・日本の消費量と消費量の推移について
- ・効率の良い筋力トレーニング・健康的なダイエット
- ・生活習慣病と健康的な体作り
- ・台湾の問題と中米の関係
- ・カーブの企業戦略と優勝・人気の理由
- ・マラソンにおける効果的な練習と食事について
- ・音楽の成り立ちと現代音楽市場の状況

趣味・特技

- ・街中散策、山歩き
- ・映画鑑賞
- ・海外ニュースのチェック

所属

人間社会学部 人間社会学科

所属学会

- ・日本流通学会
- ・日仏社会学会
- ・日仏経営学会
- ・経済理論学会

専門分野

- ・生活経済論、消費経済論
- ・生活様式論

選考方法

1. 提出書類の内容
 2. 面接(面接の際には「ゼミでどんなことをやってみたいか」を教えてください。)
- の2点で選考します。

基本は、挨拶ができて時間を守れる人、かつ、やる気のある人、であれば、受け入れOKです。なお、毎週宿題をだしますので、宿題をしたうえでゼミに参加してください。

担当科目

- ・消費文化論、消費者問題論、NPO論、生活構造論、経済学入門、アミューズメント事業論
- ・研究演習、研究演習、卒業演習

備考

評価方法

1. ゼミへの出席
2. ゼミでの報告と議論への参加

による総合評価です。

《注意》ゼミに出席しているだけでは、合格点をもらえません。宿題をしてこない人、発言をしない(議論に参加しない)人、無断欠席をする人は、単位が修得できません。

実務経験の有無及び活用